

新しい時代を切り拓き豊かな心を育む学びのまちづくり

北村健郎教育委員長が2月19日、第15回市議会定例会で述べた教育行政施策の概要をお知らせします。



北村健郎教育委員長

第15回市議会定例会の開会に当たり、平成20年度の教育行政施策について申し上げます。

戦後、わが国は目覚ましい経済発展を遂げ、今の私たちは食べ物をはじめ、衣・食・住すべての分野において、豊富な「もの」に囲まれた豊かな暮らしを営んでいます。

しかしながら、一方、昨今の日本社会は、いじめ、暴力、虐待、育児放棄、偽装あるいはだまし、さまざまな事故等の事象が日常的に引き起こされ、安全安心な生活そして社会を脅かしています。これらの事象を突き詰めますと人の心、精神、人間性のありように尽きると考えるところであ

り、だからこそ今の時代において、より教育が重要ととらえております。

さらには、社会経済情勢が大きく様変わりし、社会システムの大きな転換が求められる中、教育分野においても新しい時代に対応した、教育の在り方の構築とともに、適時適切な教育施策の展開が求められていると認識するところであります。

当委員会にありましては、こうした教育ということへの認識・重き・想いを心に据え教育行政の執行に当たってまいります。一関市が掲げる教育立市の実現のためには、「新しい時代を切り拓き豊かな心を育む学びのまちづくり」を教育振興の基本目標と定めた教育振興基本計画の着実な推進が要諦であり、本計画に沿った生涯学習、学校教育、社会教育、文化、生涯スポーツの各般にわたる教育行政施策に取り組んでまいります。以下、その具体について申し上げます。

人生を豊かにする生涯学習の推進

一つ目に「人生を豊かにする生涯学習の推進」について申し上げます。

一関に住み暮らす誰もが、人と人のつながりで構成される社会の一員として、自覚と責任を持ちながら、生涯を通じて自己実現できることが求められており、そのための環境を整えることが必要であります。

従いまして、年代や世代、教育目的や分野などに応じ、学びたい・学ぶ心意識の喚起・啓発・高揚、そして支援、さらには義務教育施設等学びの場の条件整備に意を配し、市民の生涯にわたる学習環境づくりに努めてまいります。

また、生涯学習につきましては、学習や人とのコミュニケーションを深める基本的な方法の「話すこと」「聞くこと」の基は「ことば(言語)」でありますこと

から、これを大切にする教育を生涯学習の推進の柱と位置付けしながら取り組み、市民の学習意欲の向上に資してまいります。

新しい時代に生きる力を育む学校教育の推進

二つ目に「新しい時代に生きる力を育む学校教育の推進」について申し上げます。

学校教育につきましては、確かな学力と豊かな心を育てる教育を基本目標とし、指導主事や学習指導専門員による教師への指導・支援の充実、学びの支援員の配置による児童生徒の発達に応じたきめ細かな学習指導の推進に努めます。併せて、生徒が自分と社会のかかわり方を深め、さまざまな体験を通して自己および人格の形成に資するように、市内全中学2年生を対象にした長期社会体験学習を実施するほか、学校不応や障害を持つ児童生徒および保護者に適切な助言・指導を行うため、教育相談員、



中学生の社会体験学習

事を推進してまいります。

また、平成21年度の開校を目指し、室根地域の小学校2校化への統合の準備を、地域住民の協力をいただきながら推進してまいります。

次世代を担う子どもたちが、安心して学ぶことのできる環境確保に向け、涌津・田河津・松川小の校舎、奥玉小屋内運動場の耐震化工事に係る実施設計および中里・薄衣・門崎小の校舎、老松・磐清水・薄衣小の屋内運動場、大原・東山中校舎の耐震補強等工事、山目小・東山中の屋内運動場の改築工事および川崎中の改築に向けたグラウンド造成工事を推進してまいります。

また、全中学校に自動体外式除細動器(AED)を配備いたします。

さらに、校内LANの整備など、学校の情報化を推進してまいります。

今後、児童生徒の急激な減少が想定されますが、昨年、通学区域調整審議会より子どもたちの将来の教育環境を見据えて答申をいただいた、学校適正規模の基本的考え方を踏まえた取り組みも推進してまいります。

学校給食につきましては、安全な給食の供給に心掛けながら、地場産品の活用、食育に意を配した運営に努めるとともに、大東学校給食センターから大東・東山地域の小中学校に給食を供給してまいります。

また、(仮称)真滝学校給食センターの実施設計にも着手するなど学校給食のセンター化を推進してまいります。

共に学び触れ合う社会教育の推進

三つ目に「共に学び触れ合う社会教育の推進」について申し上げます。

市民が生涯の各時期において主体的に、そして地域の学習資源を生かし地

域課題解決や地域づくりについて、共に学び触れ合う学習機会の提供に意を配しながら、学習活動の活性化を促進してまいります。

社会教育事業につきましては、地域の優れた偉人である大槻文彦・玄沢、青柳文蔵等と「ことば(言語)」とのかかわりなどを題材としながら、ことばを大切に

する学びの土曜塾等各種事業を展開するほか、家庭教育、地域づくり講座を重点的に実施するとともに、地域の特色を生かした社会教育活動の振興と活動団体の育成支援に努めてまいります。社会教育施設の整備につきましては、(仮称)東山地域交流センターの整備を推進してまいります。

図書館につきましては、昨年図書を図った図書館管理運営システムを活用し、より一層、市民の求める情報の提供と活発な読書活動の促進に努めるとともに、大東図書館の増改築事業を推進してまいります。

多様で個性ある文化の創造

四つ目に「多様で個性ある文化の創造」について申し上げます。

一関市の伝統的、歴史的な文

特別支援コーナーデイネーターおよび学校サポーターの配置による教育相談、特別支援教育の推進に努めてまいります。

また、児童のことば(言語)の力を育てるべく市内小学校3校を推進校、6校を協力校に研究指定し、ことば(言語)を大切に

する先導的な研究に取り組んでまいります。

さらには、げいび幼稚園において3歳児保育を実施してまいります。

義務教育施設環境の整備につきましては、平成22年度の開校に向け統合大原小学校の校舎建設工事に着手するとともに、一関東中学校のグラウンド造成工

社団法人一関市体育協会と一関市の連携を図り、各地域でのスポーツ教室の実施など市民の健康づくりと地域に根ざした生涯スポーツの推進に努めてまいります。

施設運営につきましては、一関運動公園、大東、千厩、東山および室根地域のスポーツ施設について指定管理者制度を導入してまいります。

また、市民がインターネットにより全地域のスポーツ施設について空き情報や予約申し込みができる公共施設予約システム構築、未整備となっている大東体育館など5施設への自動体外式除細動器(AED)の配備、一関運動公園野球場および陸上競技場の設備の充実など、施設の一体的管理による効率的・効果的運営と利用者への利便性の向上に努めてまいります。

以上、新年度の教育行政施策の概要を申し上げますが、関係団体等との連携を図りながら、生涯にわたる市民の学習活動を促進し、新しい時代を切り拓き豊かな心を育む学びのまちづくりに尽力してまいりますので、ご支援、ご指導を心からお願ひ申し上げます。

システムが一本化された市立図書館(写真は川崎図書館)

